

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2023年 4月 14日

島根県知事 丸山 達也 殿



提出者

住 所 島根県出雲市荒茅町4113-1

氏 名 株式会社 シンコー工業

代表取締役 永見 泰幸

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 (0853) 31-7120

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 シンコー工業
事業場の所在地	島根県出雲市荒茅町4113-1
計画期間	令和5年 4月 1日 ～ 令和6年 3月 31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	建設業
② 事業の規模	完成工事高 354,651千円
③ 従業員数	19人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	・ 廃プラスチック類 ・ 紙くず ・ 木くず ・ ガラスくず等 ・ がれき類 ・ 建設汚泥 ・ 石綿含有産業廃棄物 再生処理業者へ委託→破砕して燃料材で再利用 再生処理業者へ委託→破砕して燃料材で再利用 再生処理業者へ委託→破砕して燃料材で再利用 再生処理業者へ委託→破砕して再利用 再生処理業者へ委託→再生砕石として再資源化 優良認定処理業者へ委託→最終処分 優良認定処理業者へ委託→最終処分

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
処理計画統括責任者 総務課 処理計画作成担当 工務課 廃棄物管理責任者 各事業場 廃棄物担当			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 別紙1のとおり			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・ 公共工事に関する工事が主である為、各発注機関の仕様書等に 従い、適切に産業廃棄物の排出を行っている。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ・ 上記の取り組みを継続する ・ 下記取り組みにより排出量を削減する ・ 資材の再利用 ・ 資材の過剰持ち込みの削減		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・ 各現場において産業廃棄物の種類別に集積場所を設ける。 ・ 産業廃棄物用コンテナを備え付け、分別を行う。		
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・ 今まで通り分別を行う。		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 実施予定なし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 実施予定なし		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 実施予定なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 別紙2のとおり

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・再生利用者への処理委託を行い、最終処分量の削減をはかる		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・上記の取り組みを継続する ・可能な限り、優良認定業者へ委託する		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙1 廃棄物処理法 産業廃棄物処理計画書

現状:前年度(令和 4年度)実績量
計画:今年度(令和 5年度)計画量

単位:t/年

産業廃棄物の種類	排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋立処分等に関する事項	
	排出量		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
燃え殻										
汚泥	4.2	3.0								
廃油										
廃酸										
廃アルカリ										
廃プラスチック類	25.5	5.0								
紙くず	4.5	2.0								
木くず	3.6	2.0								
繊維くず										
動植物性残さ										
動物系固形不要物										
ゴムくず										
金属くず										
ガラスくず等	3.4	0.0								
鉱さい										
がれき類	1121.5	900.0								
家畜ふん尿										
家畜の死体										
ばいじん										
石綿含有産業廃棄物	2.03	0.0								
合計	1164.70	912.0								

別紙2 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

単位: t/年

産業廃棄物の種類	処理委託に関する事項									
	全処理委託量		優良認定処理業者への 処理委託量		再生利用業者への 処理委託量		認定熱回収業者への 処理委託量		認定熱回収業者以外の熱回収 を行う業者への処理委託量	
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
燃え殻										
汚泥	4.2	3.0	3.0	3.0						
廃油										
廃酸										
廃アルカリ										
廃プラスチック類	25.5	5.0			25.5	5.0				
紙くず	4.5	2.0			4.5	2.0				
木くず	3.6	2.0			3.6	2.0				
繊維くず										
動植物性残さ										
動物系固形不要物										
ゴムくず										
金属くず										
ガラスくず等	3.4	0.0	0.4	0.0	3.0	0.0				
鋤さい										
がれき類	1121.5	900.0			1121.5	900.0				
家畜ふん尿										
家畜の死体										
ばいじん										
石綿含有産業廃棄物	2.03	0.0	2.03	0.0						
合計	1164.70	912.0	5.43	3.0	1158.1	909.0	0.0	0.0	0.0	0.0